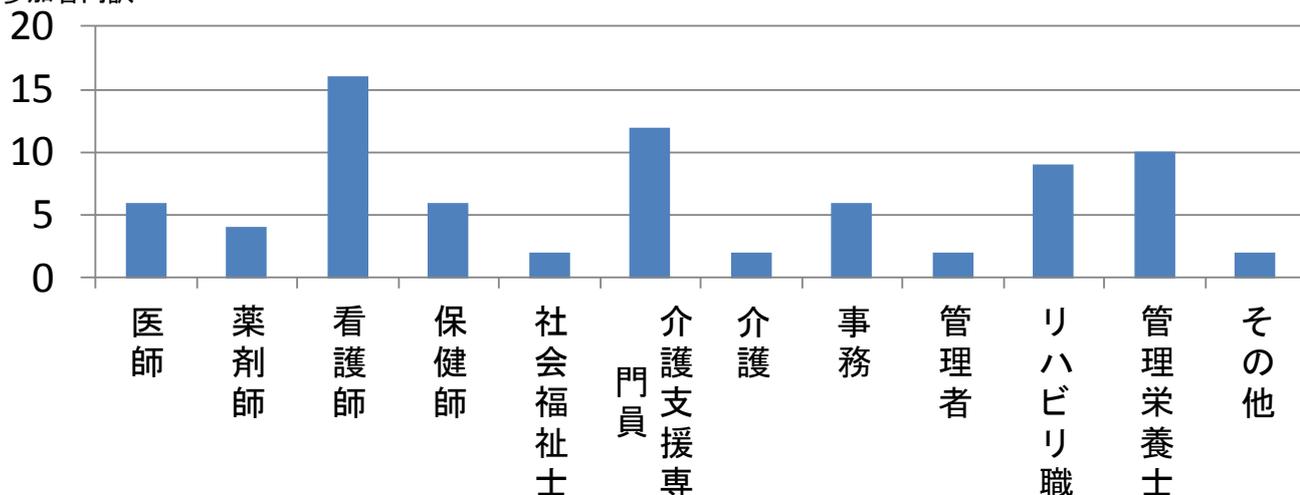
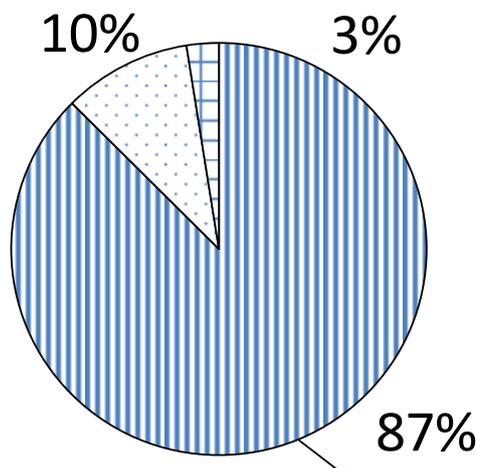
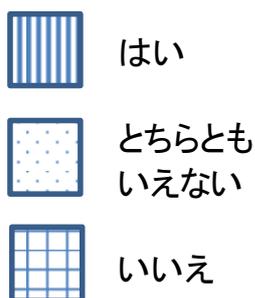


令和元年度 第1回医療・介護多職種連携会議 アンケート結果

参加者内訳



Q2. 今日の研修会に参加する前と後で、リハビリや栄養に関して理解が変わりましたか？



研修会参加者数 77名 アンケート回答者 40名 回収率 51%

Q3. 今日の研修会に参加する前と後で、リハビリや栄養に関して理解が変わりましたか？それはどのようなことですか？

- ・食べられない期間をなるべく短くする
- ・プレフレイル⇒フレイルにならないようにするために予防リハビリが始まった
- ・連携、情報共有が重要であり、以前に比べて進んでいる
- ・栄養、運動等のバランスが必要
- ・地域への取り組みについて、考えることが出来た。今までは自分の職場に限られていた。
- ・病院での取り組み (ST, PT) がよくわかった
- ・NST の活動や嚥下に対してのリハビリの方法などを詳しく知ることが出来てよかったです
- ・食事が減ることによる低栄養について、色々な理由があるが、咀嚼や入れ歯の不適合によるものがあること
- ・リハビリに検査値が関わっていて、時期が大切だと知った
- ・色々な職種の意見が聞けて、勉強になった
- ・多職種連携の大切さ
- ・ST のリハビリ内容について
- ・新見市内の病院で、NST がある所があり、取り組んでおられることの内容を知れたので良かったと思います
- ・連携を図ることが大切と思った。本人の気持ちを聞きながら、その人に合わせてが大切と思った
- ・リハビリ、栄養ともとても重要なことなので、色々な人に伝えて健康に過ごしてもらえるようにしていきたいと思

いました

- ・担当症例の中で摂食機能低下しているケースが少なく、運動機能面を促すことを優先する傾向が強かったのですが、食事の必要性を感じ、今後取り組みを増やす方向性で検討します
- ・その人の様々な状況で低栄養、誤嚥があること
- ・リハビリの目線で、栄養のことが理解できてよかった
- ・型にはまらず個別性を大切に、その人にあったもの
- ・入院中の取り組みについて、それ程関わっていることを知らず、もっと相談していきたくと思った
- ・症例紹介でわかりやすく説明していただいていたのでよかった。動画での説明も分かりやすかった
- ・栄養状態を改善するには、栄養だけでなく多職種が関わらないと出来ないと思いました。それぞれが連携をしていくことが大切
- ・NSTに参加したことがなかったので、実際の活動の内容が理解できた点とリハビリと栄養状態のつながりがわかりやすかったです

Q4. あなたの職場で、フレイル予防に関して取り組まれていることがあれば教えてください。

- ・市内でお出かけ健康教室のお達者コース（低栄養予防）では、手ばかり栄養法で、必要な肉、魚、卵、豆腐の量を紹介している、また、あいうべ体操を食べる前にしている
- ・個々の栄養計画の立案
- ・食事量を増やすために、栄養補助食品の利用、食べられる時に食べていただけるように回数を増やしている
- ・ラジオ体操
- ・それぞれの職種が連携して、栄養状態を確認し、それによってアプローチを実施しています
- ・月1回の院内新聞で、運動の仕方などを発信しています
- ・低体重の患者（低栄養状態）さんへの早期介入
- ・体操
- ・食事（栄養補助食品）の紹介
- ・通所では口腔体操
- ・職場班会を開催し、みんなで食事を食べたり、血圧を測ったりしている
- ・活動量をふまえた食事提供と多職種連携
- ・仕事の開始前にラジオ体操
- ・適切な栄養管理と適切な運動の実施

Q5. 新見地域で今後、フレイル予防への取り組みを行っていく上で、こうしたらいいというご意見がありましたら教えてください。

- ・行政放送、iチャンネル等に協力してもらいながら、本日の意見や学びを踏まえた番組で高齢者方に情報発信をしてはどうでしょうか？
- ・若い世代への意識を高める（SNS等）
- ・具体的な情報提供
- ・フレイル予防のため、食事量が少ない人が何を食ったらよいか？具体的な内容でわかりやすく説明し、iチャンネル等で地域の人に伝えたらどうか？
- ・サロンを活用したフレイルについての普及及び予防活動（地域が広いため各自治体での取り組みをしていく）
- ・あいうべ体操の普及
- ・口の体操が書かれたパンフレットがあれば、みんなが予防でしてくれるのかなと思いました
- ・定期的運動の機会（げんき広場、クアオルト）の活用
- ・運動と食事のセットメニューで行ってもらえるといいなあ
- ・新見放送の活用
- ・栄養指導が必要。野菜だけでなく、たんぱく質をとる
- ・栄養士さんの在宅訪問指導とかは難しいですかね…
- ・新見放送であいうべ体操等、お年寄りメインではなく小さい子供が行っている画を流し、地域全体で行う
- ・高齢者だけでなく、若い世代のうちから食に関する意欲や、知識を深め、SNS、iチャンネル、新聞等で情報共有する必要があるのでは。必要な人ほど無関心なので、周知することが必要だと思います
- ・若者向け（50～60代）の食事及び運動の場があると良い（筋力をつける方法等の知識の向上）
- ・テレビ、高齢者が集まる場所での紹介など、視覚に訴える

- ・高齢者だけではなく、幼稚園、小学校の時から食べる前に「あいうべ体操」
- ・栄養補助食品の紹介
- ・歯科検診を積極的に取り入れて欲しい。そのまま放置している在宅の人多い
- ・自分でフレイルチェックできる方法などを啓発する
- ・ロコモ体操、あいうべ体操の普及
- ・元氣ややる気が出るような取り組みが必要。取り組みを行う際、達成できると報酬が出るようになればいいと思います

Q6. 講義の内容や、会議の企画・運営に対するご意見（グループワークの方法など）があればご自由にお書き下さい。

- ・様々な立場の方の話を聞いてよかった
- ・とてもいい勉強になり、参加して良かったです
- ・グループワークはあってもなくてもいいかなと思います
- ・わかりやすく必要な情報が知れたので良かったです
- ・毎回とても勉強になります。介護支援専門員の研修でいつも新見の取り組みを自慢しています
- ・事例を交えたお話でとても分かりやすかったです。口腔の視点を持つことで、劇的に回復される方もいることがよく分かりました

※同じ内容のご意見はまとめて掲載させて頂きました